

佐藤慎一 contrabass
土井徳浩 clarinet, sax
片倉真由子 piano

2026 02月25日 (水)

開場 19:00

開演 19:30

(2ステージ入替無) (1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



片倉真由子

宮城県仙台市出身。幼少よりクラシックピアノを始める。洗足学園短期大学入学と同時にジャズピアノに転向、同大学を首席で卒業後2002年、パークリー音楽大学より奨学金を受け、入学する。2004年、piano achievement awardを受理し、卒業する。2004年8月に行われたLitchfield Jazz Festivalに、デイヴサントロのピアニストとして出演する。2005年9月、ジュリアード音楽院入学。ピアノをケニーバロンに、アンサンブルをカールアレン、ベンウォルフに師事。在学中より、ハンクジョーンズ、ドナルドハリソン、カールアレン、ベンウォルフ、エディーヘンダーソン、ビクターゴーンズ、ドミニクファリナッチらと共演する。2006年、Mary Lou Williams Women In Jazz Piano Competitionで優勝し、翌年5月に、同ジャズフェスティバルに自己のトリオを率いて出演する。また、2006年9月に開催されThelonious Monk International Jazz Piano Competitionのセミファイナリストに選ばれる。2009年9月には、リーダーアルバム「インスピレーション」をリリース。第43回スイングジャーナル社主催の「ジャズディスク大賞」において、ニュースター賞を受賞。2010年9月、セカンドアルバム「フェイス」をリリース。2015年9月、3枚目のリーダーアルバム「The Echoes of Three」をリリース。

佐藤慎一

18才でエレクトリックベースを、21歳でコントラバスを弾き始める。慶応義塾大学を卒業後パークリー音楽院で映画音楽の作曲を専攻するために留学するが、連日マーク・ターナー、ジョシュア・レッドマン、カート・ローゼンヴィンケルらとセッションを繰り返しジャズに開眼。帰国後は今田勝、本田竹廣、オノセイゲン、木住野佳子、内堀勝ビッグバンド、角田健一ビッグバンド、ソウルボッサ・トリオ、Charito、白庭潤 JazzRoots、Akiko, CHAKA、上妻宏光、守屋純子、noon、越智順子、大野俊三、森山良子、綾戸智恵、Som Brasil、小野リサなどジャズを中心にジャンルを超えて様々なアーティスト達のCD・ライブで活躍。海外では'97ドイツ「デュッセルドルフ」、'98オランダ「ノースシー」、'04ニューヨーク「リンカーンセンター」、'08カリフォルニア「モンタレー」、'10「上海万博」などジャズフェスに出演。'11小野リサ・アジアツアーでは中国・香港・台湾・マカオなどで数多く公演する。また、ミュージカルでは「カンパニー」「エリザベート」「モーツァルト!」「レベッカ」「三銃士」「M.A.」「ダンス・オブ・パンパイヤ」「Crazy for You」「エリザベート(ウィーン版)」「モンテクリスト伯」「シスターアクト」「4 Stars Musical Concerts」「デスノート」「Westside Story」「レディベス」など数多くの作品のオーケストラや、レコーディングに参加。'06ニューヨークのAvatar Studioで録音した初リーダー作「レ・フリーグ」をリリース、各方面メディアから絶賛される。コントラバスを故江口朝彦氏、吉田秀氏に師事。クラシックにも意欲的に取り組んでいる。

土井徳浩

中高、吹奏楽部で故 浜田伸明氏にクラリネットの手ほどきを受ける。高校卒業後、クラシックのクラリネットを故 内山洋、ジャズ・サクソスを吉永寿の各氏に師事。1997年、奨学金を得てボストンのパークリー音楽大学に留学。クラリネットを Harry Skoler、サクソスを George Garzone、Frank Tiberi の各氏に師事。2002年帰国。2003年ノナカ・サクソフォン・コンクールに於いてジャズ部門第二位を受賞。2005年よりジャズ・クラリネット奏者としての活動を開始。2011年、初リーダー作「Amalthea」をD-Musicaよりリリース。ジャズ、クラシック、ブラジル音楽、ミュージカル、テレビ番組やアーティストのレコーディング等、多岐にわたるシーンで活動中。